

令和8年度体力づくり推進計画 ＜全体計画＞

東広島市立三ツ城小学校

達成目標

- 体力テストの課題種目を年に2回実施し、1回目よりも2回目の結果が良くなった児童の割合を80%以上にする。
- 「運動やスポーツをすることが好きですか。」の項目に対する肯定的評価の割合を、90%以上にする。

学校の状況

- 市街地にある大規模校。
- 運動場は広いが、児童数も多いため、遊び方に制限がある。
- 外遊びをする児童とそうでない児童の二極化が進んでいる。

児童生徒の運動・生活習慣の実態

- 運動やスポーツをすることは好きかを問うアンケート結果（7月・2月実施）
全校 「好き」または「やや好き」…87%
- 週2回以上1日20分以上運動をしている児童の割合…94%

新体力テスト、アンケート調査等調査結果との比較から

- ・「20mシャトルラン」「50m走」において、5年男女とも、県平均値かつ全国平均値より低かった。
- ・5年女子の「長座体前屈」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低かった。
- ・4～6年の「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低かった。

実態把握

児童生徒の実態や新体力テスト等から明らかになった課題

- 全校児童
 - ・運動やスポーツをすることが好きな児童は、約87%いるが、外遊びに取り組む児童は限られており、二極化している。
 - ・ドッジボールやおにごっこ等、休憩時間の遊び方が限られているため、外で遊ぶ児童も限られている。

課題解決に向けた取組事項

- 体育科での取組
 - ・体育科の授業始めに、準備運動として、おにごっこや体じゃんけん等、楽しく体を動かす活動を取り入れる。
 - ・職員研修等を実施し、運動の取り組ませ方の共通認識をもつ。
- 三ツ城タイムの実施
 - ・月に2回程度、朝の時間を使って全校で運動を行う時間を設定する（三ツ城タイム：体育朝会）。
 - ・縄跳びやボール運動、様々な遊びを紹介する。
- ロング昼休憩の実施
 - ・休憩時間を活用したクラス全員での外遊びを行い、担任も一緒になって遊ぶことで、児童と教職員の信頼関係を構築し、運動に対する意識の向上を図る。
- 環境の整備
 - ・中庭でも運動ができるように環境を整える。
 - ・投動作が習得できるように、遊びながらこつをつかめる遊具を引き続き活用する。
- 体育的行事の充実
 - ・ドッジボール大会や長縄大会を実施し、運動やスポーツをする機会を確保したり、体を動かす楽しさや協力することの大切さを実感させる。
- 家庭学習での取組
 - ・長期休暇の時には、毎日カードに、体力づくりの項目を入れ、縄跳びや柔軟、外遊び等、簡単にできる運動を宿題にし、体を動かす機会を増やす。

期待される効果

- ・新体力テストにおいて、記録が向上する。
- ・運動の仕方が分かり、外遊びを積極的に行う児童が増える。
- ・教職員と児童の運動に対する意識が向上する。
- ・クラス全員での外遊びをすることで、運動する楽しさを味わいながら、コミュニケーションを図ることができる。

体制

- ・体育主任を中心とした保健体育部で児童の育成を図る。
- ・学年の保健体育部を中心に、学年の課題とそれに対する取組を考え、実行する。
- ・研究部との連携を図り、職員研修を充実させる。

推進組織

※ R7.12～R8.1に作成した「体育に関する指導改善計画」に基づき、全体計画を作成する。同時に、必要に応じて「体育に関する指導改善計画」の見直しを図る。

令和8年度体力づくり推進計画 <年間指導計画>

東広島市立三ツ城小学校

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストにおいて、5年男女とも、県平均値かつ全国平均値より低い種目を2種目以内にする。 ○ 「運動やスポーツをすることが好きですか。」の項目に対する肯定的評価の割合を、90%以上にする。 ○ 週2回以上1日20分以上運動をしている児童の割合を95%以上にする。
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



